

女子は上田藍の23位が最高位

2007ITUワールドカップ北京大会速報1

バネッサ・フェルナンデス(ポルトガル)が万全の優勝

9月15(土)、2008年の北京オリンピックのプレ大会として、2007ITUワールドカップ北京大会第1日・エリート女子のレースが北京市郊外で行われた。

前日まで降り続いた雨のために天候が心配されたが、晴れとなった。しかし、湿度、温度ともは高いなかのレースとなった。

ウエットスーツは着用禁止。午前10時ちょうどにスタートし、スイムトップは18分46秒のサラ・マクラートとサラ・ハスキンス、ローラ・ベネットのアメリカ勢3名。続くのは、ジョエル・フランツマン(ドイツ)、サラ・グロフ(アメリカ)だが、すぐ後ろにトップから10秒遅れで前々週の世界選手権ハンブルク大会で優勝したバネッサ・フェルナンデス(ポルトガル)が追う。

日本選手は、古谷あかね(トヨタ車体)がよくがんばって、フェルナンデスの2秒前、6位でスイムを終えた。

バイクでは、フェルナンデスとデビーターナー(ニュージーランド)と上記のアメリカ勢らがつくる8名の第1集団が先行した。しかし、後続に2周目で追いつかれ、30名の大集団となった。この集団には古谷が入っていた。

第2集団は11名だったが、6周目で上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)を含む二人の選手がこの集団に追いついた。

この後ろの第3集団は約20名。このなかに、庭田清美(アシックス・ザバス)、関根明子(NTT東日本・NTT西日本)、忽那静香(トーシン・日東紅茶・TEAM KEN'S)、大松沙央里(トヨタ車体)が入っていた。

第1集団と第2集団の差は約2分20秒。さらに第3集団とは、1分10秒差だった。



古谷あかねはスイム6位と健闘した



バイクで集団を走る関根明子

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



女子は上田藍の23位が最高位

2007ITUワールドカップ北京大会速報1

ランに入ると、すぐにフェルナンデスがトップに立った。すぐ後を追うのはベネットと、世界選手権を思わせる展開。そのあとを、ターナーが追う。2周回目を終えたところで、フェルナンデスが大きくリード。結局、1分15秒あまりの大差をつけて、フェルナンデスが優勝した。

フェルナンデスは、「湿度も気温も高く、多くの水を飲んだ。イージーだったように見えたかもしれないが、追ってくる選手が強いので楽ではなかった」と語った。

2位は、バイク第2集団から追いつけたスノーシル、3位はベネットと世界選手権と同じ顔ぶれだった。

日本選手は、上田の23位が最高位。古谷30位、関根33位、大松37位、庭田48位、忽那54位の結果だった。

明日9月16日(日)は、エリート男子のレースが行われる。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧になれます。



画面左上のフェルナンデスの後を追う

上田 藍

(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)



23位となってしまったが、バイクで思うように戦えたのが収穫だった。第3集団にいたが、前を追ってバイク終盤には第2集団に入ることができた。ランのはじめで3分近く離れたのは痛かった。次は、月末の銚子大会。そして、日本選手権に出場する予定。



ほかを寄せ付けず優勝したフェルナンデス



世界選手権と同じく2位のスノーシル

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

